

LIVE BOARD、2026年7月～9月期の デジタル OOH 広告配信サービス資料を公開



株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長 田中 淳泰 以下、LIVE BOARD）は、2026年7月～9月期（2026年度 Quarter2、以下 Q2）のデジタル OOH^{※1}（以下、DOOH）広告配信サービス資料を公開いたしました。

※1 Digital Out of Home の略。交通広告、屋外広告、商業施設などに設置されたデジタルサイネージを活用した広告媒体

■ダウンロード方法

全国のスクリーン、出稿料金、プランニング手法、可能な広告効果測定方法など、LIVE BOARD への出稿に関する情報をまとめております。公式 HP よりダウンロードし、ご活用ください。

URL：<https://liveboard.co.jp/download>

タイトル：1. LIVE BOARD Network 2026年7月～9月期のご案内

■2026年度 Q2 サービス資料トピックス

1. 新規接続スクリーンが多数登場

全国で新規接続スクリーンが増加。特に関西エリアでの接続が拡大しました。

・東京：「SHIBUYA POPUP BOARD」「フクラスビジョンセット」

- ・大阪：「CITY BOARD 難波西口」「南海 AD ビジョン なんば B1 高島屋前」「大阪メトロ 本町ホームビジョン」
「J・AD ビジョン WEST 大阪駅西口デジタルサイネージ」
- ・京都：「京都駅橋上北壁面」
- ・兵庫：「M-INT VISION」神戸市営地下鉄「三宮エントランスビジョン」「三宮ホーム DS-2」「三宮コンコース DS」
- ・福岡：「博多駅デジタルサイネージ よかろうもん！9面セット」

2. LIVE BOARD ネットワーク接続スクリーン数

運営スクリーンが 61,000 面以上。※2026 年 7 月時点想定（予定）

3. リピ得キャンペーン実施中

2024 年 4 月以降に出稿実績のある広告主様に向けて、リピ得キャンペーンを実施中。

- ・Imp 保証型：インプレッションが 1.5 倍に
- ・Imp 課金型：LB オウンドメディアの CPM が半額に

■株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現するデジタル OOH アドネットワークオペレーター

OOH 領域において国内で初めてインプレッション（VAC）※2 に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。



※2 LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション（VAC=Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数）を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数（OTS=Opportunity to See）のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数（OTC=Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮）を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうべ人数（VAC）を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 田中 淳泰
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階
設立日	2019 年 2 月 1 日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問合せ先>
 LIVE BOARD 広報事務局 担当：加藤・鏡
 TEL：090-3050-8873 / 03-5843-0932 E-mail：info_press@liveboard.co.jp